

## 呉文繡氏(国際航業株式会社代表取締役会長, 日本アジアグループ(JAG)株式会社取締役)に特任教授(客員)の称号を授与しました(2019/12/6)

テーマ: 国際三大アジェンダ, 産学連携, 仙台防災枠組  
場所: 日本アジアグループ(JAG)株式会社本社

2019年12月6日(金)に, 日本アジアグループ(JAG)株式会社取締役, 国際航業株式会社代表取締役会長である呉文繡氏に, 特任教授(客員)の称号を授与いたしました。今後, 国際三大アジェンダへの貢献や防災・減災の活動を, 国内のみならず国際社会への発信を強化するためアドバイスを頂く予定です。当日は, 西田徳子 JAG 広報部長, 村嶋陽一 国際航業株式会社執行役員・防災環境事業部長に同席を頂き, 本学から青木孝文 理事・副学長(企画戦略総括担当)と原義信 復興担当理事・副学長(社会連携・震災復興推進担当), 当研究所から今村文彦 研究所長が出席いたしました。

呉文繡氏には, 従来から本学リーディング大学院(グローバル安全学)などの外部有識者として, 教育および研究にご指導・助言をいただいております。国連グローバル・コンパクト・ボードなど国際機関で多くの委員や理事を歴任し活躍される中で, 国際三大アジェンダ(仙台防災枠組, SDGs, パリ協定)推進の取り組みについて高い知見と経験を持たれており, 本学の国際活動についてもアドバイスや協力を頂けると期待しております。

特に, 2015年仙台防災枠組が国連から提案され186カ国が承認し, 2030年まで国際社会での防災・減災の目標となっており, SDGsやパリ協定などとも連携が求められておりますが, 現状として国内での認知向上に課題があり, 海外での具体的な取り組みが必要であることが指摘されています。東北大学は「学」の立場からこの仙台防災枠組の周知や推進に向けての活動を, 戦略的に進めていきたいと考えております。



青木理事・副学長と呉文繡氏



左から 原理事・副学長、青木理事・副学長  
呉文繡氏、今村所長

文責: 今村文彦(所長・災害リスク研究部門)